

全戸配布ビラ（「くらしと平和」99号）の訂正のお願い

今、みなさんに全戸配布をお願いしている表題の「くらしと平和」99号に間違いがあることが分かりました。その部分に抹消線を引いて、配布してほしいというお願いです。忙しいところ大変申し訳ありませんが、よろしくお願ひします。

間違いの箇所は、以下の部分です。

「災害から命を守る防災対策」の項目の名にある、
「防災士として」の部分を、マジックやボールペン等で抹消してください。

県民のくらし最優先の県政を
水道料金20%値上げ中止を!
異常な物価高で大変なこのときに
値上げする県政でいいのでしょうか?
今こそ“自治体の役割”発揮を!

無所属・日本共産党推薦
おぐら まさゆき
小倉正行

（小倉正行プロフィール）1952年神奈川県鎌倉市生まれ。京都大学法学部卒業。国会議員公設秘書として37年間、全国47都道府県をまわり国民の暮らしを見つめてきたプロの政策マン。とくに食と農の専門家。現在も月刊誌「食べもの通信」の編集世話人をつとめる。『知っておきたい日本の農業・食料（学習の友社）』、『TPP参加「日本崩壊」のシナリオ（宝島SUGOI文庫）』など著書多数。流山市在住。

くらしと平和 発行：憲法がいきる明るい千葉県をつくる会
住所：千葉県中央区中央4-1-10 電話：043-224-7720 千葉県連立交付
99号 2025年2月25日 小倉正行さんの政策を紹介します。

令和のコメ騒動に野菜の高騰…。くらしが今ほど大変なときはありません。そんなときに千葉県は、県営水道の料金20%値上げを発表しました。いのちに直結する「水道」。どんな理由があろうとも、安価で安定した水の供給が求められており、県にはその責務があります。水道料金の値上げは中止しましょう！

食料自給率向上と食の安全を守る
千葉県は全国4位の農業産出額を誇る有数の農業県です。しかし、農業従事者の高齢化が進み、このままでは現在の農業生産の維持も困難が予想されます。さらに千葉県の食料自給率は24%と全国平均の38%を大きく下回っています。農業生産者への支援とともに、生産者の参入促進や耕作放棄地での飼料生産に取り組みます。

災害から命を守る防災対策を
いつ襲われるかわからない大地震。私は東日本大震災の直後に被災地に調査に入り、被災者や被災農家の要望を集め「防災士として」地区防災計画の導入にたずさわってきました。首都圏直下型の地震への対策は、今すぐ手掛けないといけない重要課題ですが、千葉県によるマンシヨンの防災対策は全くありません。県をあげてのマンシヨンを含む防災、さらには国際基準を基本とした避難所の整備を進めます。

↑
ここの「防災士として」を消してください。

この全戸配布ビラは、知事選挙告示後も、公選法201条15の規定により配布することができます。知事選挙の事前審査でも申請し、了解を得ています。